

森林作業システム高度技能者育成研修 (集材機架線計画高度化研修) ご案内

1. 研修の目的

本研修は、**安全で効率的な架線集材を実施することができる高度技能者(高度架線技能者)の育成**を目的とした研修です。熟練技能者からの指導により架線作業等のノウハウやコツを習得するほか、オープンソース等を活用した架線計画の高度化、安全性や生産性を意識した架線計画の立案、作業指揮者としてのリーダーシップ醸成を図ります。

高度技能者とは、森林施業の効率化を提案できる高度で専門的な知識と技術を有する者を言います。

2. 研修の内容

- ◆ 安衛則等の法令や力学に基づいた安全作業の知識
- ◆ 効率的な架線計画（机上計画・現地踏査）の知識
- ◆ ワイヤロープ加工や支柱作設作業の知識
- ◆ 架線計画シミュレーション、オープンソース活用の知識
- ◆ 現場で作業を指揮するためのリーダーシップの醸成 等

受講料は無料、研修教材（右図教材）を**無料で配布**

研修教材「高度架線技能者技術マニュアル2014」

高度架線技能者
技術マニュアル2014



林野庁

お問い合わせはこちら

 一般社団法人 日本森林技術協会
Japan Forest Technology Association

〒102-0085
東京都千代田区六番町7

本業務の専用ページ



電話：03-3261-5497 e-mail：ginouikusei@jafta.or.jp

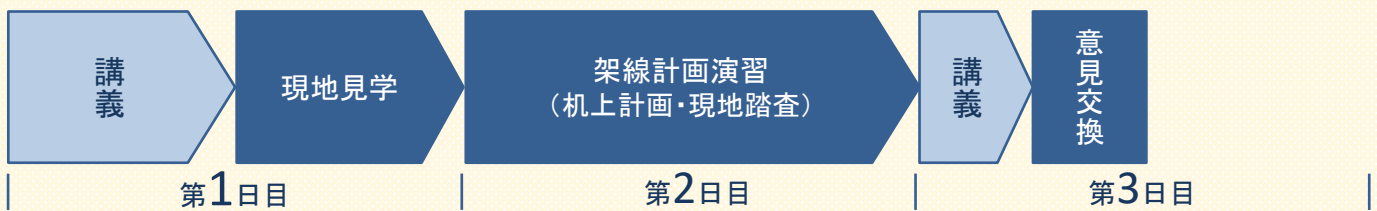
研修の実施・受講等の手続き・案内については、本業務の専用ページをご覧ください

3. 受講生の参加資格

- 高度な架線技術に必要な技能を習得しようとしている者
 - 林業架線作業主任者免許の保有者、または架線作業スタートアップ研修修了者
 - 労働災害補償保険の適用を受けている者（個人事業主は問わない）
- ※ 研修受講後、5年以上就業できる者

「緑の雇用」の登録経営体に関わらず受講可能

4. 研修のカリキュラム

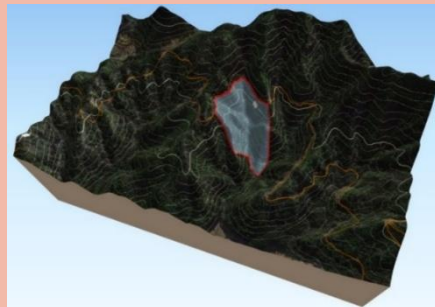


架線集材の熟練技能者を講師に、架線計画演習を主体としたカリキュラム

【本研修ではオープンソース等を有効活用】

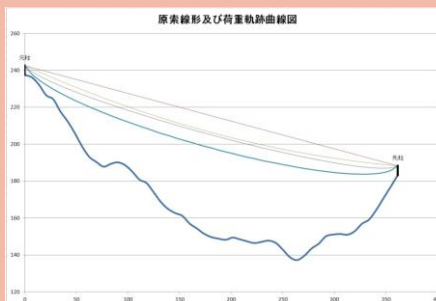
《机上計画》

オープンデータ・オープンソースGIS等の活用や架線シミュレーション等による、架線計画結果の「見える化」を基に、地形の起伏や傾斜を立体的に把握しながら、最も効果的な土場・支柱・架線配置を検討。



《現地踏査》

机上計画で整理した地図情報等のデータをタブレット端末のアプリで連携。GNSS機能等通信環境が整備されていない山間部でも有効活用。



5. このような人・経営体におすすめ

- 最低限の導入コストで架線計画の見える化などに取り組みたい方
- 安全根拠に基づいた的確な作業指揮を行いたい方
- 架線集材の生産性向上・コスト削減を目指したい方
- 基礎研修からさらに一歩進んだ実践的な技術へステップアップしたい方